

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひまわりABA教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 27日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	対応の難しい子ども相手でも、実態を共有しながら、どんな心理であるのかを説明してもらえること	子どもたちの行動一つ一つに、その行動を行うに至った背景があることを意識して、行動の説明を行っている。	左記の内容を継続して行う
2	悩み事に対して、いくつもの案を出して頂いており、助けになっている	対応の難しいお子さんの場合には、事業所内でミーティングを行い、アイデアを出すようにしている。	左記の内容を継続して行う
3	支援について、不安に思うことも多いが、行っていることを肯定して頂けることや、質問にも的確に答えてもらっていることで、前向きな気持ちになることができる	子どもたちの日々の状態の中で、ポジティブな変化については、特に意識して伝えるようにしている。それによって支援者様にとっても、心の支えとなる支援を行うことを心がけている。	左記の内容を継続して行う

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	研修機会が少ない	外部のものを含めても、訪問支援に関する研修を実施している機会が少なく、新人研修を行うことが出来ない。	会社内での研修を検討しており、会社内部での研修機会を増やす。
2	相談に関する時間が取れない	先生方や保護者様と直接話す時間が確保できないことがある。	お手紙でのやり取りをさせて頂いたり、電話での連絡を行ったりしている。
3	小学生の親同士で交流する機会が取れていない	未就学の保護者様同士で交流する機会は、3か月に1度程度行っているが、小学生以上の保護者同士で交流する機会については、現状確保していない。	小学生の親も含めた保護者会を検討する。